

## ESDの視点から保・幼・小と活動団体等が連携！ ～「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」を開催～

箕面森林ふれあい推進センターは、1月27日（土）に大阪市北区の近畿中国森林管理局大会議室において、（公社）国土緑化推進機構及びNPO法人近畿環境市民活動総合支援センターと共催して、「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」を開催しました。当日は、教育機関・自治体・活動団体など75団体125名の参加があり、3つの講演と8事例12団体からの事例報告、パネルディスカッション等を行いました。

### 近畿中国森林管理局長あいさつ

多くの参加に感謝します。本会は新たに加えた「幼児期での森林体験学習」の事例を含め、講演や事例報告、パネルディスカッションをしていただきますが、前日に開催された「森と自然を活用した保育・幼児教育に関する自治体勉強会in関西」と、この意見交換会をとおして、参加されている皆さまの今後の森林ESDのための活動の活性化、連携・協働の強化及び相互交流の進展に繋がることに期待しています。



近畿中国森林管理局  
高野浩文局長

### 講演

講演について参加者からは、「森林環境教育が重要となっていくこと、行政も動いていることがわかった。」「幼児期の自然の中での体験が大事であることを理解した」「ESDや森林環境教育の目的などがわかりやすく理解できた」など、それぞれの講演から「学ぶことが多くあった」との感想が寄せられました。



#### 京都教育大学 社会科学科教授 山下宏文氏

「過去2回の取組成果と年代をつなぐ森林ESDの取組の視点」  
～森林ESDの視点についてや過去2回の取組の成果の報告を受けて～



#### NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟 理事長 内田幸一氏

「幼児教育における森林体験学習」  
～内田さんが運営する森のようちえんの活動報告の紹介後、  
森のようちえんの運営の考え方や、子ども達に自然環境の中でどう意識化させていくか～



#### 公益社団法人 国土緑化推進機構 政策企画部課長 木俣知大氏

「幼稚園教育要領、保育所保育指針、学習指導要領の改訂と森林ESD」  
～森林ESDの視点から、学習指導要領改訂を踏まえて教育に求められるものや、  
そのための支援・協働の体制の動きなど～



## 事例報告

幼児教育関係が5事例、小学校関係が3事例について行われ、連携によって活動団体自身も活性化していること。地域での繋がりが深まり、更に取り組みが広がっていること、森の中で子ども達が生き生きと体験していること、そうした中で子ども同士で考え共同して取り組む姿が生まれていることなど、多様な背景を持った事例として体験・実践の報告がありました。



## 事例報告団体等

- 事例1 「森とともにだち ～自然の中で共に育ちあう～」  
 社会福祉法人顕陽会 すみだこども園 西北千絵子（和歌山県）  
 「みつけて ふれて わくわくドキドキ！！」  
 橋本ひだまり倶楽部 小杉美恵子
- 事例2 「森のようちえんから広がる、里山の人・世代・未来」  
 森のようちえんウィズ・ナチュラ 岡本麻友子（代表）（奈良県）  
 明日香森林環境教育フィールド「Forest Rivr」 森川生一（代表）
- 事例3 「子ども達と共に」 里山再生の試み  
 津山 森のようちえん ことこと 澁谷太郎（園長）（岡山県）
- 事例4 「幼児に土と緑を」  
 公益社団法人 京都市保育園連盟 八瀬野外保育センター 高見 累（京都府）
- 事例5 「～木とふれあい、木に学ぶ、木と生きる～ 木のまち吉野だからできる「木育」  
 吉野町教育委員会 紙森智章（学校教育推進室長）（奈良県）  
 吉野町立わかばこども園 中山智美（園長）  
 森林インストラクター 坂口 榮治
- 事例6 「地域学習への取組（森林環境教育に関連して）」  
 橋本市立清水小学校 栗川万須美（校長）（和歌山県）  
 「子供力（こどもりょく）小学生だって森林整備!!」  
 橋本ひだまり倶楽部 小杉恵美子
- 事例7 「森林環境教育プログラム よぼし子の森」  
 土に根ざした学びの場・まるやま組 萩のゆき（石川県）
- 事例8 「1年生から関わり続ける里山体験～取り組みから見えてきたこと～」  
 箕面市立止々美小学校 國廣幸一（教諭）（大阪府）



左上 西北さん、小杉さん、岡本さん、森川さん  
 澁谷さん、高見さん、栗川さん  
 左下 紙森さん、中山さん、坂口さん、萩のさん  
 国廣さん

【次号（97号）へ続く】

